



平成27年6月10日  
株式会社メイコー

福島太陽光発電所「メイコーソーラーパーク福島」の稼動開始について

株式会社メイコー（本社：神奈川県綾瀬市、代表取締役社長：名屋佑一郎）は、当社福島工場の東日本大震災震災と原子力発電所事故からの復興、および再生可能エネルギーの導入による環境負荷低減を通じた地域と社会への貢献を目的として福島工場敷地内に太陽光発電設備の建設をおこなってまいりましたが、この度、竣工をむかえ6月10日より発電を開始いたします。

本システムは、福島県双葉郡広野町の当社福島工場内の約40,000m<sup>2</sup>の社有地を活用して設置・運用するもので、パネル数9,772枚、年間発電電力量は2,600MWhとなり、一般家庭720世帯分の電力消費量に匹敵するものがあります。

メイコーでは、東日本大震災および津波により宮城県石巻市にある宮城工場が被災し、さらに東京電力の福島第一原子力発電所の事故により福島県広野町にある福島工場が同時に被災したため、両工場とも閉鎖する事態に至りました。このうち、福島工場は原子力発電所から20Kmの距離にあるため、その年の4月には緊急時避難準備地域に指定され7月には再稼働いたしましたが、敷地内にある遊休地約40,000m<sup>2</sup>が残っておりました。当社では、この土地の活用について検討をおこなってまいりましたが、土地の規模から再生可能エネルギーである太陽光発電所として活用することが環境負荷低減による地域と社会への貢献と事業継続を両立できるもっとも適切な方法であると判断し導入したものであります。

当社では、本システムの稼動を通して地球環境および持続可能社会の形成に貢献するとともに、工場における基板製造事業の拡大と合わせて今後も地元福島の復興と発展に貢献してまいります。

福島太陽光発電所「メイコーソーラーパーク福島」の概要は次の通りです。

設置場所 : 福島県双葉郡広野町大字上北迫字岩沢 1 - 2  
株式会社メイコー福島工場内

設置面積 : 33,813m<sup>2</sup>

パネル数 : 9,772 枚

発電容量 : 2,492Kw

想定年間発電量 : 2,600MWh (一般家庭約 720 世帯分の消費電力)

発電開始日 : 2015 年 6 月 10 日

投資額 : 7 億 2,000 万円

以上

